

印刷物上の画像特徴量を用いた 携帯端末で利用可能なデータ伝達技術

用途・応用分野

- ・2次元コードの代替(広告、マーケティングなど)
- ・美術館や博物館などの案内情報の供給
- ・クーポンの配布(例えば、グルメサイトとの連携)
- ・拡張現実感(AR)への応用

本技術の特徴・従来技術との比較

- ・外観を損ねず印刷物から低コストでスマートフォンなどの携帯端末に情報供給可能
- ・プロジェクタやデジタルサイネージなどの技術と組み合わせれば容易に供給するデータ内容を変更できる
- ・画像特徴量を利用した画像認識技術や情報検索技術との併用が可能

技術の概要

2次元コードの代わりに通常の画像を用いて、印刷物をスマートフォンなどの携帯機器のインターネット機能に連携させたいという要求は強く、印刷物上の画像を利用して情報を伝達する技術を開発した。

本技術は画像認識技術と画像へのデータ埋め込み技術を併用することで、同一のロゴなどに異なる情報を持たせることが可能になる。データを95%以上の検出率で検出可能であり、インターネットと印刷物をつなぐ有効な手段になり得る。



特許・論文

<特許>

- 「レンズ歪みの補正法」(特許第5654889号)
- 「画像生成装置、及びユーザ端末」
(特許第6980273号)

研究者

棟安 実治

システム理工学部 電気電子情報工学科
画像処理工学研究室

